仙台市文化財調査報告書第19集

# 仙台市地下鉄関係分布調査報告書

昭和55年3月

仙台市教育委員会
仙台市企画局

# 例　　言

1．本報告は地下鉄建設予定地及びその周辺の文化財分布調査報告書である。

2．調査主体は仙台市企画局（高速鉄道建設準備事務局）と仙台市教育委員会である。

3．調査の担当は仙台市教育委員会社会教育課文化財係で、現地踏査にあたっては東北学院大学考古学研究部の学生に協力を得た。

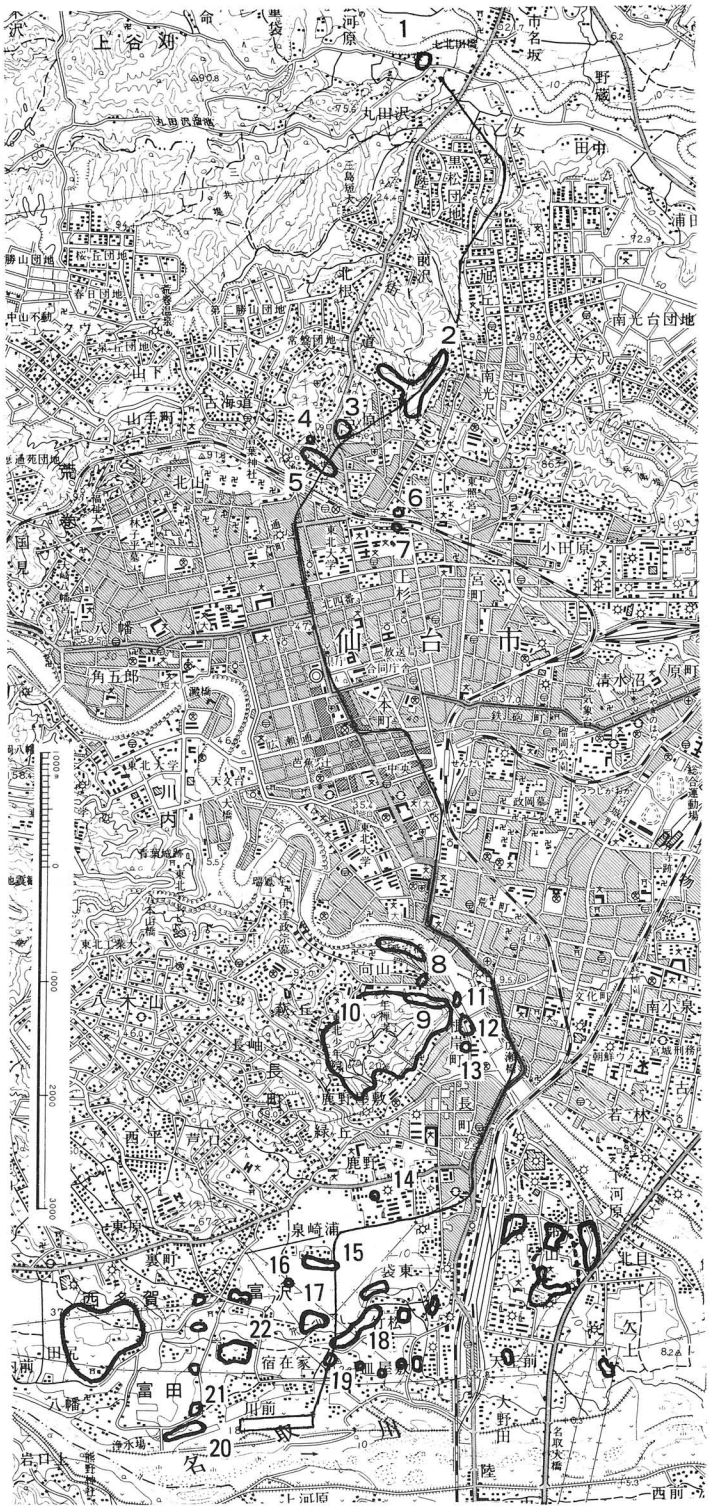
4．本文の執筆並びに編集は、東北学院大学考古学研究部からの提出資料に基づき、文化財係職員である結城慎一が担当した。

5．遺跡分布図は、国土地理院発行の５万分の１の地形図（仙台）を使用したものである。

# 目　　次

遺跡分布図……1
Ⅰ．調査に至るまでの経過……2
Ⅱ．遺跡地名表……2
Ⅲ．調査概要……6
Ⅳ．今後の取扱いについて……7
参考文献……7

# 遺跡分布図


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
仙台市
上谷刈
丸田沢
田中
北根
南光台団地
川下
山下
古海道
山手町
北山
小田原
上杉
八幡
角五郎
清水沼
本町
明川
内
向山
八木山
長町
鹿野
緑丘
西平
芦口
若林
泉崎浦
裏町
富沢
西
質
富田
宿在家
川前
大野田
名取大橋
西前
上河原

# Ⅰ．調査に至るまでの経過

昭和53年７月11日　「文化財分布調査について（依頼）」
教育長　佐藤敬あて　企画局長　大竹兵次

昭和54年２月13日　「高速鉄道予定路線図の送付について」
教育長　藤井黎あて　高速鉄道建設準備事務局長

昭和54年３月２日　「高速鉄道建設に係る台原（瓦山駅）周辺に関する打ち合せについて」
社会教育課長あて　高速鉄道建設準備事務局長

昭和54年３月15日　「駅建設に伴う諸問題について」会議

昭和54年４月25日　「文化財の分布調査について（依頼）」
教育長　藤井黎あて　企画局長　村上芳郎

昭和54年８月９日　「地下鉄関係分布調査の実施について」起案

昭和54年11月13日　「路線基本設計図の送付について」
社会教育課長あて
高速鉄道建設準備事務局建設部建設課長　中道擴

以上のように文書による依頼、起案、会議がもたれ、またこの間、実務的な協議も何回か行なわれた。分布調査の依頼は上記のとおり昨年７月に一度あったのであるが、文化財係の日程的な都合により今年度改めて依頼を受けることにして、８月起案、９～10月実施という運びになった。

地下鉄予定ルートは、北は七北田川、南は名取川に挾まれる区間であり、現在の国道４号線と重なるか、ほぼ平行するものである。調査は地下鉄予定ルートの東西１km内を一応の目安とし、周知の文化財の範囲確認及び新遺跡の発見に努めた。

# Ⅱ．遺跡地名表

**1．** 遺跡番号　新発見のため、
名　　称　番号、名称未定。
所 在 地　泉市七北田字高柳60
立　　地　七北田川南岸、低丘陵北端、畑地
範　　囲　150 × 150m

出土遺物　縄文土器

2．遺跡番号　C－403
名　　称　五本松窯跡
所 在 地　仙台市荒巻字五本松、六本松
立　　地　森林公園東、南側斜面中心に分布する。
範　　囲　800 × 500m
出土遺物　細弁蓮華文、宝相華文軒丸瓦円面硯、風字硯、須恵器

3．遺跡番号　C－402
名　　称　一本杉窯跡
所 在 地　仙台市台原二丁目
立　　地　丘陵南斜面、宅地化されている。
範　　囲　150 × 100m
出土遺物　宝相華文軒丸瓦、均正唐草文軒平瓦、瓦塼

4．遺跡番号　C－170
名　　称　山田団地東南遺跡
所 在 地　仙台市堤町二丁目
立　　地　丘陵東斜面、宅地化されている。
範　　囲　70 × 40m
出土遺物　土師器、陶器

5．遺跡番号　C－401
名　　称　堤町窯跡
所 在 地　仙台市堤町二丁目
立　　地　丘陵南緩斜面、宅地化されている。
範　　囲　400 × 150m
出土遺物　宝相華文軒丸瓦、連珠文軒平瓦、平瓦、丸瓦

6．遺跡番号　C－416
名　　称　杉添東窯跡
所 在 地　仙台市台原六丁目
立　　地　丘陵南斜面
範　　囲　70×50m
出土遺物

7．遺跡番号　C－242
名　　称　上杉六丁目遺跡
所 在 地　仙台市上杉六丁目10
立　　地　梅田川南岸、宅地化している。
範　　囲　地下 2.5m　20×10m
出土遺物　土師器、須恵器、瓦片

8．遺跡番号　C－028
名　　称　愛宕山横穴古墳群
所 在 地　仙台市越路、向山四丁目
立　　地　広瀬川南岸、愛宕山北斜面及び南東斜面に分布。
範　　囲　400 m
出土遺物　須恵器、土師器、直刀

9．遺跡番号　C－034
名　　称　大年寺山横穴古墳群
所 在 地　仙台市向山四丁目
立　　地　大年寺山北斜面に分布。
範　　囲　400 m

出土遺物

10. 遺跡番号　C－504
名　　称　茂ヶ崎城跡
所 在 地　仙台市長町字茂ヶ崎
立　　地　大年寺山
範　　囲　500×110mの二の丸あり。
出土遺物

11. 遺跡番号　C－033
名　　称　宗禅寺横穴古墳群
所 在 地　仙台市根岸町204他　宗禅寺
立　　地　大年寺山東端部、現状は墓地。
範　　囲　70m
出土遺物　土師器、須恵器

12. 遺跡番号　C－236
名　　称　根岸遺跡
所 在 地　仙台市根岸町
立　　地　大年寺山南麓、道路、宅地化している。
範　　囲　100×80m
出土遺物　縄文土器

13. 遺跡番号　C－002
名　　称　兜塚古墳
所 在 地　仙台市根岸町15　仙台南高校
立　　地　広瀬川南岸の平坦地
範　　囲　径60m
出土遺物　円筒埴輪片

14. 遺跡番号　C－017
名　　称　金岡八幡古墳
所 在 地　仙台市長町七丁目
東北特殊鋼内
立　　地　平地
範　　囲　径12m
出土遺物

15. 遺跡番号　C－202
名　　称　泉崎浦遺跡
所 在 地　仙台市富沢字泉崎浦、伊蔵前
立　　地　平地、水田、畑地、宅地
範　　囲　350×50m
出土遺物　土師器、須恵器片

16. 遺跡番号　C－014
名　　称　教塚古墳
所 在 地　仙台市富沢字教塚北
立　　地　水田に囲まれた平坦地
範　　囲　径15m
出土遺物　円筒埴輪片

17. 遺跡番号　C－233
名　　称　山口遺跡
所 在 地　仙台市富沢字山口他
立　　地　笊川北岸の水田地
範　　囲　300 × 200m
出土遺物　縄文土器
土師器、須恵器

18. 遺跡番号　C－197
名　　称　六反田遺跡
所 在 地　仙台市大野田字五反田、六反田

立　　地　笊川南岸の畑地、宅地
範　　囲　500 × 100m
出土遺物　縄文土器
　　土 師 器
　　須恵器片

範　　囲　300 × 200m
出土遺物　土師器、須恵器片

**19.** 遺跡番号　C－196
名　　称　伊古田遺跡
所 在 地　仙台市大野田字塚田
立　　地　新笊川北岸、水田、畑地
範　　囲　100×50m
出土遺物　土師器片

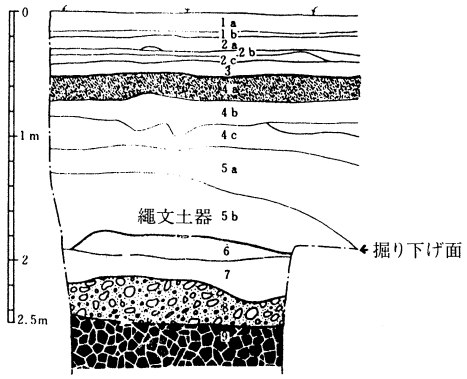
**20.** 遺跡番号　C－151
名　　称　六本松遺跡
所 在 地　仙台市富田字戸ノ内
立　　地　水田及び畑地
範　　囲　400 × 120m
出土遺物　土師器片

**21.** 遺跡番号　C－186
名　　称　鍛冶屋敷B遺跡
所 在 地　仙台市富沢字鍛冶屋敷
立　　地　畑地
範　　囲　200×70m
出土遺物　土師器、須恵器片

**22.** 遺跡番号　C－520
名　　称　富沢館跡
所 在 地　仙台市富沢字館
立　　地　新笊川南岸、水田、畑地
　　土塁あり

参 考

**六反田遺跡の層位**




| 層No. | 土　色 | 表　示 | 土　性 | そ の 他 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 灰黄褐～褐色 | 10YR4/2.4 | シ ル ト | 水 田 土 壌 |
| 2 | 褐～黒灰色 | | 〃 | 〃 |
| 3 | 褐　色 | 7.5YR4/3 | シルト質粘土 | |
| 4 | 暗～黒褐色 | | 〃 | 上面が平安時代の面か |
| 5 | にぶい黄褐色 | 10YR4/3 | 砂質粘土 | |
| 6 | 暗 褐 色 | 10YR3/4 | 〃 | 上面が縄文時代の面か |
| 7 | 〃 | 10YR3/3 | 粘土質砂 | 焼土・炭化物有り |
| 8 | にぶい黄褐色 | 10YR5/4 | 砂質シルト | レキを多く含む |
| 9 | | | | レ キ 層 |

「仙台市大野田六反田遺跡―発掘調査
（第１次）のあらまし―」より

# Ⅲ．調査概要

今回の分布調査において地下鉄予定ルート及びその近隣で新しく発見した遺跡は、泉市七北田と仙台市大野田に各１ヶ所であった。しかしながら、この調査をとおしてあらためて市内の遺跡分布の特徴と、現在の課題である地下鉄建設に文化財としてどの地域にどのようなポイントをおいて対処していったらよいかを考えるに充分な資料を得ることができた。

次に地下鉄路線で特に文化財に関係する２地域を概説する。

## １．堤町・台原地区

この区間では堤町から台原森林公園にかけての窯跡群の存在が一つの特徴である。堤町窯跡及び一本杉窯跡は住宅化のため破壊が著しいが、台原森林公園内外は大窯跡群の存在が推定される。ここは大きく五本松窯跡と呼称しているが、これを細分すると五本松窯跡、六本松窯跡並びに射撃場窯跡の各群としてとらえられるところである。窯跡の年代は平安時代で、瓦と須恵器を生産したものである。

台原・小田原丘陵全体はこの地域をほぼ西端とする古代窯業地帯として全国的に知られている。

## ２．大野田・富沢地区

この地区は八木山丘陵の南に面し、広瀬川・名取川に挟まれた平坦地である。その両河川のほぼ中央を最近までよく氾らんした笊川が流れている。この笊川を中心とした地域は仙台市内でも最も古代遺跡が密集する地域の一つである。

泉崎浦遺跡、山口遺跡、袋東遺跡、六反田遺跡などがあり、このうち山口遺跡と六反田遺跡の一部は開発に先立って事前調査が行なわれたところであり、その結果、縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良時代、平安時代と各時代に渡る復合遺跡であることが判明している。これらの調査が実施されるまでは沖積地は縄文時代等の居住環境としては考えにくいところであり、事実、地下約２ｍのところから縄文時代生活層が発見されたことは沖積地における学術的視点を転換させる契機となった。

以上のことから、この地区は、表面からは水田などの土地利用の関係もあり、遺物の表土採集がなく遺跡としての認識がない地点でも、地下約２ｍにおいて縄文時代層が堆積していることは推定に難なく、先にあげた泉崎浦遺跡、山口遺跡、袋東遺跡、六反田遺跡等も巨視的に見

れば同一遺跡と見られないこともないところである。

またこれも調査で明らかになっていることであるが、五反田古墳、鳥居塚古墳、教塚古墳、春日社古墳、王の壇古墳など、開田等で消滅してしまったもの、残存しているが原形が相当変っているものなどがあり、長町地区は古墳が群集していたところとしても把握できる。

## Ⅳ．今後の取り扱いについて

今後の文化財の取り扱いについて基本的なことを述べておきたい。

①台原地区の窯跡群については、それが削平、埋土の如何にかかわらず、窯跡の立地条件を考慮すれば調査の必要性がある。

②大野田・富沢地区では、路線が遺跡上にあるところはもちろん、遺跡外としているところでも、Ⅲの２でふれた理由により全路線を調査対象とする必要がある。

③この他にも、国道４号線と重複するところなどは現状では遺跡の存在を確認することはできないが、工事中に遺跡の発見があれば緊急調査を要する。

④以上のことは地下鉄路線はもちろん、工事用道路等も対象となる。

## 参　考　文　献


１．「仙台の文化財分布図」収録物件一覧表（仙台市教育委員会、昭和53年３月）

２．「仙台市大野田六反田遺跡―発掘調査（第１次）のあらまし―」昭和52年３月
（仙台市教育委員会、日本電信電話公社東北電気通信局）

３．「仙台市大野田六反田遺跡発掘調査（第２・３次）のあらまし」昭和54年３月
（仙台市教育委員会、日本電信電話公社東北電気通信局）

４．「陸奥国官窯跡群」（古窯跡研究会、1973年３月）

５．「陸奥国官窯跡群Ⅱ」（古窯跡研究会、1976年５月）

６．「五本松窯跡発掘調査報告書」（仙台市教育委員会、昭和48年10月）

## 仙台市
## 社会教育課

| | |
|---|---|
| 課長 | 永野昌一 |
| 主幹 | 早坂春一 |

### 文化財係

| | |
|---|---|
| 係長 | 鈴木昭三郎 |
| 主査 | 鈴木高文 |
| 主事 | 田中則和 |
| 〃 | 結城慎一 |
| 〃 | 柳沢みどり |
| 〃 | 渋谷孝雄 |
| 〃 | 佐藤洋 |
| 〃 | 篠原信彦 |
| 〃 | 木村浩二 |
| 〃 | 佐藤甲二 |
| 〃 | 工藤哲司 |
| 〃 | 渡部弘美 |
| 〃 | 山口宏 |
| 〃 | 渡辺洋一 |

## 仙台市文化財調査報告書刊行目録

第１集　天然記念物霊屋下セコイヤ化石林調査報告書（昭和39年４月）
第２集　仙台城（昭和42年３月）
第３集　仙台市燕沢善応寺横穴古墳群調査報告書（昭和34年３月）
第４集　史跡陸奥国分尼寺跡環境整備並びに調査報告書（昭和44年３月）
第５集　仙台市南小泉法領塚古墳調査報告書（昭和47年８月）
第６集　仙台市荒巻五本松窯跡発掘調査報告書（昭和48年10月）
第７集　仙台市富沢裏町古墳発掘調査報告書（昭和49年３月）
第８集　仙台市向山愛宕山横穴群発掘調査報告書（昭和49年５月）
第９集　仙台市根岸町宗禅寺横穴群発掘調査報告書（昭和51年３月）
第10集　仙台市中田町安久東遺跡発掘調査概報（昭和51年３月）
第11集　史跡遠見塚古墳環境整備予備調査概報（昭和51年３月）
第12集　史跡遠見塚古墳環境整備第二次予備調査概報（昭和52年３月）
第13集　南小泉遺跡―範囲確認調査報告書―（昭和53年３月）
第14集　栗遺跡発掘調査報告書（昭和54年３月）
第15集　史跡遠見塚古墳昭和53年度環境整備予備調査概報（昭和54年３月）
第16集　六反田遺跡発掘調査（第２・３次）のあらまし（昭和54年３月）
第17集　北屋敷遺跡（昭和54年３月）
第18集　枡江遺跡発掘調査報告書（昭和55年３月）
第19集　仙台市地下鉄関係分布調査報告書（昭和55年３月）

仙台市文化財調査報告書第19集
**仙台市地下鉄関係分布調査報告書**

昭和55年３月発行
発行　仙台市教育委員会
仙台市国分町３－７－１
仙台市教育委員会社会教育課
印刷　株式会社　東北プリント
仙台市立町24－24　ＴＥＬ 63－1166㈹

文化財愛護シンボルマーク